

■ 多言語FM放送 ■

【ひな祭り】

今回の「香夢音 I - PAL」は、ひな祭りについてです。

3月も間近、春が待ち遠しいですね。そこで今回は3月3日にやってくるひな祭りについてお伝えします。

「ひな祭り」は、女の子がいる家庭でひな人形を飾り、女の子の健やかな成長を祈る、日本の伝統的な行事です。この時期、ちょうど桃の花が咲く時期であることから「桃の節句」とも呼ばれます。「節句」とは、伝統的な年中行事を行う季節の節目(ふしめ)となる日で、1年間に5回あります。5回の節句の中には、桃の節句のほか、男の子のお祭りである5月5日の端午の節句も含まれます。

ひな人形はなぜ飾るのでしょうか。節句の起源である中国では、この時期には川で体を清める習慣がありました。日本ではそれが3月3日に災厄を人形に移して川へ流す行事となりました。その人形がひな人形の起こりといわれます。いくつかの地域では今でも「流しびな」といって紙で作った人形を3月3日に川に流す習慣があります。その後、女の子にひな人形を贈る習慣が一般的になり、ひな人形を屋内に飾るようになりました。

ひな人形は、5段から7段でできた雛壇を赤い布で覆い、その上に飾ります。一番上には「おだいらさま」といわれる男びなと「おひなさま」である女びなを。男びなは衣冠束帯、女びなは十二単という昔の皇室の正装を身につけています。2段目にはお給仕の道具を持っている「三人官女」、3段目には「五人ばやし」と呼ばれる笛や太鼓を持った男の子たちの楽団。その他、右大臣、左大臣、橘の木や箆笥などの調度品を飾ります。

ところで、ひな祭りにはちょっとした迷信があります。ひな祭りの日が過ぎた後も、ひな人形を片付けずにいると、女の子の結婚が遅くなるという俗説があります。ひな人形は、本来なら、自分の災厄を人形に移して川へ流す行事でした。そこで、その人形をいつまでも飾っておくことは、災厄をいつまでも身近におくのと一緒なことなので、早く片付けなければならないと考えられたそうです。

また、ひな祭りには、この時期に咲く桃の花を活けて、ひな祭りにちなんだ食物を食べます。ひなあられ、菱餅、ちらし寿司、ハマグリのお吸い物などが代表的な食べ物です。

香川県の東かがわ市引田では、2月27日から3月3日まで、引田ひなまつりが開かれます。

JR引田駅より町並み一帯で開催され、通り沿いの各家に、ひな人形が飾られるほか、期間中のイベントとして市松行列、ひな行列、だんじり子ども歌舞伎などが行われます。皆さんも見物に行かれてはどうでしょうか。

COME ON! I-PAL

英

来週は中国語放送ですので、次回の英語放送は再来週2月27日日曜日の午後8時55分から、「エコロジー」についてお送りします。

-

中

来週は英語放送ですので、次回の中国語放送は再来週3月6日日曜日の午後8時55分から、「エコロジー」についてお送りします。